

## 里親学生支援事業としての6回目の卒業生を送り出しました

2017年3月31日

平成29年3月10日(金)に平成28年度滋賀医科大学卒業式が挙行され、里親学生支援事業としては、6回目の卒業生(医学科7名、看護学科1名)を送り出しました。

卒業式当日は、時折小雨がぱらつく様子もありましたが、卒業するほぼ全員の登録学生が集まり、里親学生支援室員が卒業生を囲んで記念撮影を行いました。

学生達が、それぞれの新しく進む道で活躍し、また、今度は自分たちが里親となり、後輩たちを支援してくれればと期待しています。



## 講義・実習中のスマートフォン等の使用に関するFD・SD研修会を開催しました

2017年3月16日

里親学生支援室では、平成29年3月1日(水)に看護学科棟の看護第一講義室において、FD・SD研修会を認定NPO法人滋賀医療人育成協力機構の共催として開催しました。

このテーマでは平成26年度にも実施し、2度目の実施となります。

研修会では、里親学生支援室員であり、基礎看護学講座(形態・生理)の相見教授より「アンケート調査結果報告」として講演がありました。講演では別途調査した「講義・実習中のスマートフォン等の使用に関する調査」結果を基に、教職員の対応の変化や学生の要望などについて報告がありました。

続いて、学生生活支援部門長 医療情報部の永田教授とマルチメディアセンター 重歳助教から、「知っているようで知らない情報化社会の変化 学生たちに何を教える必要があるのか?」と題して講演がありました。講演では、講義資料における著作権の話があったほか、情報を安易に拡散することのリスクについて様々なタイミングで学生たちに教えていかなければならないなどのお話がありました。

その後のディスカッションでは、それぞれの講義での対応の仕方についての意見交換があったほか、学生のほとんどが電子機器を所持する状況の中「教育のインフラとして使用し、その中でモラルを育てていくことも必要ではないか」など様々な意見が聞かれました。

なお、今回の研修会には、県内看護学校の方々も含め、約40名の教職員の方々にご参加いただき有意義な研修になりました。



## 地域理解・交流事業「宿泊研修」日程決定(平成29年3月23日～24日開催)

2017年3月13日

### 地域理解・交流事業「宿泊研修」日程

～彦根市・米原市方面の医療と歴史・文化を学ぶ～

#### ●3月23日(木)1日目

滋賀医科大学(出発)<9:00>

↓

彦根市地域見学(散策)<10:00～11:50>(彦根城・彦根城博物館など)

↓

赤鬼(昼食)<12:00～12:50>

↓

彦根市立病院(説明・見学)<13:00～15:00>

↓

友仁山崎病院(説明・見学)<15:30～16:30>

↓

グランドデュークホテル(交流会・宿泊)<16:50頃到着>

17:30～18:30 交流会<第1部>講演/意見交換等

「在宅支援における医療従事者の連携について(仮題)」

米原市地域包括医療福祉センター「ふくしあ」

認知症ケア上級専門士/介護福祉士 今井 友緒子 氏

「「ふくしあ」での医療活動について(仮題)」

米原市地域包括医療福祉センター「ふくしあ」センター長

中村 泰之 先生

18:45～20:45 交流会<第2部>学生報告会/懇談/会食

20:45～ 学生交流会

#### ●3月24日(金)2日目

グランドデュークホテル(出発)<8:40>

↓

龍潭寺(りゅうたんじ)(地域見学)<9:00～10:00>

↓

米原市地域包括医療福祉センター

「ふくしあ」(説明・見学)<10:30～11:30>



若いぶき(昼食)〈12:00~13:00〉



地域包括ケアセンターいぶき(説明・見学)〈13:15~13:45〉

(地域交流)〈14:00~15:30〉



滋賀医科大学(解散)〈17:00頃〉



瀬田駅(希望者ありの場合)

プチ里親の方からフォーラム開催のお知らせ(3/5)

2017年2月28日

「彦根市の地域医療を守る会」第5回フォーラム

テーマ: 認知症のこれからを考える PART2

日時: 平成29年3月5日(日) 13:30~15:30(終了予定)

場所: 大学サテライトプラザ・彦根

(彦根市大東町1-7 アル・プラザ彦根6階)

第1部 講演: 「認知症～ここが知りたい～」

講師 彦根市立病院 院長 金子 隆昭 氏

～リフレッシュタイム～「頭と心のリフレッシュ」

指導 田附 孝子 氏(ニホンレクレーション協会

認定コーディネーター)

第2部 質問タイム: 「みんなで話そう」



☆ 詳しくは、こちらをご覧ください→

【開催案内】講義・実習中のスマートフォン等の使用に関するFD・SD研

2017年2月22日

修会(3/1)

講演の順番を変更しました

\*\*\*\*\*

「里親」にご登録いただいている皆様へ

臨床実習受入診療所の皆様へ

県内看護師養成学校教職員の皆様へ

学内教職員、学生の皆様へ

先般より、講義・実習中におけるスマートフォン等の使用に関する調査について多数ご意見をいただきましてまことにありがとうございました。

このたび里親学生支援室では、この調査の結果を踏まえ、下記のとおりFD・SD研修会を開催することになりました。

多数ご出席くださいますようお願いいたします。

記

1. 日時: 平成29年3月1日(水) 午後5時30分～午後7時00分

2. 場所: 滋賀医科大学 看護学科棟(1階) 看護第一講義室

3. 講演1 「講義・実習中のスマートフォン等に関するアンケート調査結果報告」

基礎看護学講座(形態・生理) 相見 良成 教授

講演2 「知っているようで知らない情報化社会の変化

学生たちに何を教える必要があるのか？」

医療情報部 永田 啓 教授

マルチメディアセンター 重歳 憲治 助教

ディスカッション 司会 社会医学講座(衛生学) 埜田 和史 准教授

【問い合わせ先】

滋賀医科大学 里親学生支援室(学生課内)

認定NPO法人 滋賀医療人育成協力機構

TEL 077-548-2802

E-mail [satooya@belle.shiga-med.ac.jp](mailto:satooya@belle.shiga-med.ac.jp)

宿泊研修における交流会のご案内(3月23日開催)

2017年2月15日

「里親」・「プチ里親」にご登録いただいている皆様方へ

滋賀県で働いておられる医師・看護師・保健師・助産師の皆様方へ

里親学生支援室では、3月23日(木)・24日(金)に彦根市・米原市方面で宿泊研修を実施します。

3月23日の夜には、里親・プチ里親の方々や地域で勤務されている医師・看護師・保健師・助産師の皆様と参加学生との交流会を下記のとおり行いますので、是非ともご参加ください。

参加お申し込みの場合は、①第1部・第2部のどちらからの参加予定であるかと、②住所、氏名、連絡先等を電話・FAX・メールで2月28日(火)までに里親学生支援室へお知らせください。

また、ご多忙とは存じますが、開始のそれぞれ5分ほど前までには会場にお越しくださいませう、お願いいたします。

記

1、日時 平成29年3月23日(木)

第1部 講演・意見交換 午後5時30分～午後6時30分

17:30～17:50

「在宅支援における医療従事者の連携について(講演題目は仮)」

米原市地域包括医療福祉センター「ふくしあ」

認知症ケア上級専門士・介護福祉士 今井 友緒子 氏

18:00～18:30

「「ふくしあ」での医療活動について(講演題目は仮)」

米原市地域包括医療福祉センター「ふくしあ」

センター長 中村 泰之 氏

第2部 学生報告会・懇談・会食(飲料はノンアルコールでの提供)

午後6時45分～午後8時45分 の予定

2、会 場 グランドデュークホテル

滋賀県彦根市佐和町11番36号 (TEL)0749-24-1112

(JR琵琶湖線 彦根駅下車 西口より徒歩7分、

名神高速「彦根IC」から約5分)

[問い合わせ先]

滋賀医科大学 里親学生支援室

TEL 077-548-2802

E-mail satooya@belle.shiga-med.ac.jp

### 【開催案内】第5回 滋賀県医師キャリアサポートセンター懇談会(3/1)

2017年2月9日

滋賀県医師キャリアサポートセンターから、

「平成28年度 第5回滋賀県医師キャリアサポートセンター懇談会」のお知らせです。

参加希望の方は、キャリアサポートセンターまで、氏名・学年を添えてメールで申し込みください。

#### 記

日 時： 平成29年3月1日(水) 17:30～(1時間程度)

会 場： 滋賀医科大学医学部附属病院

医師キャリアサポートセンター室 (病院外来棟3階 第3会議室前)

講 師： 滋賀医科大学 地域医療教育研究拠点 准教授

独立行政法人 地域医療機能推進機構 滋賀病院 乳腺外科 診療部長

梅田 朋子 先生

テーマ：『私の履歴書 -女性として自由に生きるためにはどうしたらよいのだろうか?-』

参加費： 無料

対 象： 医学生(主に4年生、5年生が対象ですが1年生～6年生も参加可能です。)

医学生からの質問や相談もお受けします。

この機会に気になること、知りたいことを先輩にお聞きしてみませんか？

本学以外の医学生の方も大歓迎です。

皆さまのご参加をお待ちしております。

参加をご希望される方は下記の連絡先まで、学年・氏名をご記入の上

メールでお申し込みください。電話でも受け付けております。

詳細につきましてはHPをご覧ください。

<http://www.shiga-med.ac.jp/~ishicsc/>

〔問合わせ・申込先〕

滋賀県医師キャリアサポートセンター

事務担当・相談窓口： 滋賀医科大学病院管理課

住所：〒520-2192 滋賀県大津市瀬田月輪町

TEL：077-548-3656

E-Mail：ishicsc@belle.shiga-med.ac.jp

担当：北川・中野

## 【開催案内】 第5回 滋賀県女性医師交流会(2/18)

2017年1月18日

今年度は「古くて新しい「当直」問題」をテーマとし開催させて

いただきますので、ご案内申し上げます。

多数のご参加をお待ちしております。

【主 催】滋賀県女性医師ネットワーク会議

【日 時】平成29年2月18日(土)

午後2:30～5:30

【場 所】市民交流プラザ(フェリエ南草津5階 大会議室)

【講演者】池永 肇恵 滋賀県副知事

演題:「女性活躍の推進について」

【対象者】女性医師、男性医師、病院関係者、医学生など

医師以外の方も歓迎です。

【参加費】無料(自動車でのお越しの際は市営駐車場をご利用下さい。

自動車(4時間まで)は市民交流プラザ事務所(5階)

で駐車券の処理をしてもらおうと無料です。)

※ 日本医師会生涯教育制度指定講演会に認定されております。

(単位:2.5単位 CC:1.6)

【詳 細】リーフレットはこちらです。[リーフレット.pdf](#)

【申込先】滋賀県医師キャリアサポートセンター

(滋賀医科大学病院管理課)

住 所:〒520-2192 滋賀県大津市瀬田月輪町

T E L : 077-548-3656

E-Mail: [ishicsc@belle.shiga-med.ac.jp](mailto:ishicsc@belle.shiga-med.ac.jp)

担 当: 北川・中野



## 平成28年度 FD(教育技能)研修会・意見交換会を開催しました

2016年12月27日

12月13日(火)アーバンホテル南草津において「地域里親学生支援」の事業の一環である「FD研修会・意見交換会」開催しました。

この研修会は、学外におられる里親・プチ里親の方々に大学の状況をお伝えし、里子学生の置かれている状況を知っていただく情報共有の場としています。

今回の研修会では、今年度4月から副学長に就任され、本学医学科2期生でもある山田 尚登副学長(教育・広報・渉外等担当)から「迫りくる医学教育改革について」と題して、ご講演いただきました。

講演では、日本医学教育評価機構による医学教育分野別評価とそれに基づく滋賀医科大学の対応についてのお話をいただきました。

引き続き、和やかな雰囲気の中、出席者の自己紹介などを含め意見交換や懇談が行われました。ペアで参加された里親・里子の姿もあり、日頃メール交換が中心の先生方と一層交流が深まる良い機会となったようです。

お忙しい中、ご出席いただきました皆様、ありがとうございました。



## 【開催案内】滋賀県医師キャリアサポートセンター懇談会(1/17)

2016年12月21日

滋賀県医師キャリアサポートセンターから、「平成28年度 第4回滋賀県医師キャリアサポートセンター懇談会」開催のお知らせです。

参加希望の方は、キャリアサポートセンターまで、氏名・学年を添えてメールで申し込みください。

記

日時：平成29年1月17日(火)17:30～(1時間程度)

会場：滋賀医科大学医学部附属病院 医師キャリアサポートセンター室  
(病院外来棟3階 第3会議室前)

講師：滋賀医科大学 リハビリテーション科 尾木 祐子先生

テーマ：『整形外科医として働きはじめて—現在、過去、未来—』

参加費： 無料

対 象： 医学生

(主に4年生、5年生が対象ですが1年生～6年生も参加可能です。)

医学生からの質問や相談もお受けします。

この機会に気になること、知りたいことを先輩にお聞きしてみませんか？

本学以外の医学生の方も大歓迎です。

皆さまのご参加をお待ちしております。

参加をご希望される方は下記の連絡先まで、学年・氏名をご記入の上

メールでお申し込みください。電話でも受け付けております。

詳細につきましてはHPをご覧ください。

<http://www.shiga-med.ac.jp/~ishicsc/>

〔問合わせ・申込先〕

滋賀県医師キャリアサポートセンター

事務担当・相談窓口：滋賀医科大学病院管理課

住所：〒520-2192 滋賀県大津市瀬田月輪町

TEL：077-548-3656

E-Mail：[ishicsc@belle.shiga-med.ac.jp](mailto:ishicsc@belle.shiga-med.ac.jp)

担当：北川・中野

## 【開催案内】「第9回 卒業後の自分を考える連続自主講座」を開催します！

2016年12月21日

大雪警報のため、延期となりました。

\*\*\*\*\*

学生の皆さんが、医師や看護師としての自分の将来像を探すことを応援するために、

「卒業後の自分を考える連続自主講座」を、下記のとおり開催します。

9回目の今回は、多彩な生き方、働き方をされてきた女性の医師と看護師の先輩方に、

体験談をお話いただきます。素朴な疑問や不安に思っていることなど、何でもお聞き

ください。

将来のロールモデルとなる先輩を囲んで、充実したひとときをお過ごしください。

女子学生だけでなく、男子学生、現在仕事や子育てに奮闘中のあなたの参加をお待ち

しています。

記

【演題】

「仕事・家庭・子育て 私のワークライフバランス」

【講師】

木築 野百合 医師(きづきクリニック院長、滋賀医科大学医学科5期生)

石原 仁 看護師(栗東市訪問看護ステーション)

大黒 典子 看護師(訪問看護ステーションさと信楽サテライト)

林 みさ子 看護師(湖南市立石部医療センター)

【開催日】

平成29年1月20日(金)午後6時～8時

【場所】

滋賀医科大学クリエイティブモチベーションセンター CMCホール

【その他】

軽食を用意しますので、事前に申し込んでいただくと助かりますが、  
当日参加も大歓迎です。途中からの参加も可能ですので、  
お気軽に申込みください。

【申込先】

認定NPO法人 滋賀医療人育成協力機構

(滋賀医科大学 学生課 里親学生支援室内)

TEL:077-548-2802 FAX:077-548-2803

E-mail: [satooya@belle.shiga-med.ac.jp](mailto:satooya@belle.shiga-med.ac.jp)

プチ里親の方から勉強会のお知らせ(3月18日開催)

2016年12月19日

「彦根市の地域医療を守る会」第42回 勉強会

日 時: 平成29年3月18日(土)10:00～11:30

場 所: 彦根市立病院 医療情報センター

テーマ: 期待される薬剤師

内 容: 病院薬剤師の役割と業務のお話

今後薬剤師に期待される業務や当院での取り組みについて

講 師: 彦根市立病院 薬剤部長 三露 久生 氏

☆ 詳しくは、こちらをご覧ください⇒ [彦根市の地域医療を守る会第42回勉強会.pdf](#)

第8回「卒業後の自分を考える」連続自主講座「災害と救急医療～救命  
のために～」を開催しました

2016年12月2日

第8回「卒業後の自分を考える」連続自主講座『災害と救急医療～救命のために～』を開催しました。

学生の皆さんが、医師や看護師としての自分の将来像を探すことを応援する「卒業後の自分を考える」連続自主講座を、11月4日にクリエイティブモチベーションセンターにおいて開催しました。

今回の講師には、江口 豊教授(滋賀医科大学救急集中治療医学講座、滋賀医科大学医学科2期生)、田畑 貴久講師(滋賀医科大学救急集中治療医学講座、滋賀医科大学医学科13期生)、飯島 圭主任(滋賀医科大学施設課電気係)、武村 佳奈子副看護師長(滋賀医科大学医学部附属病院 看護部(2C))をお迎えし、お話を聞かせていただきました。

#### 「世界標準治療を超えて」

江口 豊先生からは、2010年に心肺蘇生法の国際ガイドラインが改定され、心肺停止患者に対する人工心肺装置の活用、緊急冠動脈形成術や脳低温療法の施行が社会復帰に繋がると示唆されました。

救急集中治療医学講座では、人工心肺装置装着や脳低温療法を積極的に導入し、世界のガイドラインの推奨度を超えた先進的治療を行っています。医師はガイドラインを遵守し診療に当たることはもちろん大切ですが、医学の進歩のためにガイドラインを作成する医師になろうという気構えも持ってほしい、とのお話がありました。



#### 「災害への備え～災害の現場から～」

田畑 貴久 先生からは、外科医として診療を行っていたのですが、外科診療で扱う外傷の手術・処置の方が自分には合っていると思い、救急集中治療の道に進むようになりました、とのことでした。

医大で日常勤務をしながら、滋賀医科大学DMAT隊員として活動しています。災害現場で、DMATとして活動できる環境を整備したり、大学内で災害医療に対応できる人材の育成・体制の構築に努めています。



#### 「チーム医療の要～メディカルスタッフの立場から～」

飯島 圭 氏からは、平時は滋賀医科大学施設課電気係員として勤務されていますが、災害時「滋賀医科大学DMAT」への出勤命令が出た際には、業務調整員として災害地に赴き活動されている様子をDVDにまとめお話をいただきました。

武村 佳奈子看護師からは、現在は2C病棟に勤務していますが、就職当初の勤務はICUで5年間お世話になりました。そこで江口先生に出会い、救急医療に興味を持ち2009年には「救急看護認定看護師」になり、現在は大学院で学んでいます。

現在「滋賀医科大学DMAT」には、医師6名、看護師11名、業務調整員4名の隊員がおり、災害時には1チーム5名で活動します。東日本大震災では、花巻空港のSCUでトリアージ、応急処置などの活動をしました、とのお話がありました。



最後に学生さんから色々な質問があり丁寧に回答いただいた中、特に印象に残ったのは、講師の皆様が口をそろえて、「自分だけの力では何もできません、皆のチーム力が必要です。」と謙虚に語ってくださったこと。

「医師・看護師など人の命に係わる仕事に携わるということに腹をくれ！」というお言葉。

「卒業後、どの科に進むかは自分の一番好きな事を選べばよい。進む道はおのずと開けて来ます。私達も外科医を目指していたが、現在は救急治療の道を進んでいます。」

学生の皆さんの心にずっと刻まれるお言葉をいただき有難うございました。



#### 【参加学生の声】

・攻める医者、守る医者というのが印象に残りました。どちらかという守る医者の方に逃げたいと思ってしまうのですが、江口先生のお話を聞いて、攻める姿勢も大切なのだなと感じました。

災害医療の携わる人に、業務調整員という職種があることは知っていたのですが、話を直接聞くことができ、イメージとしてはっきりしたものになりました。

滋賀医大の救急について以前よりも知ることができました。

・私にとってガイドラインは暗記して実行するものでした。今日のお話の中のガイドラインを作る側に自分なる、という言葉には目からうろこが落ちました。

施設課の方が、医師や看護師と一緒にお仕事をしている姿に新鮮な感じがしました。

・私は医学科1回生で、卒業後どのような医療活動に従事するかまだ具体的に決まっていなかったが、実際に災害現場で医療活動に従事している医師や看護師、業務調整員の生の声

を聴くことで、災害医療に対する関心が深まり、将来災害医療に従事することを視野に入れる良い機会となったと思う。

また、災害医療は平常よりも、様々な職種の方々と連携が求められ、また業務調整員の方たちの支えが、円滑に医療行為をするにあたって非常に大切であるということを学んだ。

最後に、質疑応答があったが、その中で江口先生をはじめとして激励のお言葉があり、感銘を受けた。人生の先輩方からのアドバイスを忘れず、これからの学生生活を有意義に過ごしていきたい。

・講師の先生方の能動的に医療に関わっておられる姿勢をお話し頂いて、日頃授業を受けてそのまま終わっていないか、受動的になっていないか、と反省する機会になりました。日々の授業も情報量が膨大ではありますが、先生方も仰っていたように、何が役に立つかは必要になるまで分からないので、試験にとらわれず学んでゆきたいと思います。

・普段は一方的にお話を聞いている先生方と近い距離で、個人的なお話も交えて会話できたことが良かったです。気軽にオフィスを訪ねるきっかけも頂きました。ありがとうございます。

【開催案内】滋賀県医師キャリアサポートセンター懇談会(12/16)

2016年11月11日

滋賀県医師キャリアサポートセンターから、懇談会開催のお知らせです。

参加希望の方は、キャリアサポートセンターまで、氏名・学年を添えてメールで申し込みください。

記

日 時：平成28年12月16日(金)18:00～(1時間程度)

会 場：滋賀医科大学医学部附属病院

医師キャリアサポートセンター室(病院外来棟3階 第3会議室前)

講 師：滋賀医科大学 母子診療科 特任助教 桂 大輔先生

テーマ：『キャリアパスについて』

参加費：無料

対 象：医学生

(主に4年生、5年生が対象ですが1年生～6年生も参加可能です。)

医学生からの質問や相談もお受けします。

この機会に気になること、知りたいことを先輩にお聞きしてみませんか？

本学以外の医学生の方も大歓迎です。

皆さまのご参加をお待ちしております。

参加をご希望される方は下記の連絡先まで、学年・氏名をご記入の上

メールでお申し込みください。電話でも受け付けております。

詳細につきましてはHPをご覧ください。

<http://www.shiga-med.ac.jp/~ishicsc/>

〔問い合わせ・申込先〕

滋賀県医師キャリアサポートセンター

事務担当・相談窓口：滋賀医科大学病院管理課

住所：〒520-2192 滋賀県大津市瀬田月輪町

TEL：077-548-3656

E-Mail：[ishicsc@belle.shiga-med.ac.jp](mailto:ishicsc@belle.shiga-med.ac.jp)

担当：北川・中野

## 「リレー・フォー・ライフ・ジャパン2016滋賀医科大学」、「学園祭」でブースを設けました

2016年11月10日

10月8日(土)～9日(土)に滋賀医科大学で学生が主体となって実施された「リレー・フォー・ライフ・ジャパン2016滋賀医科大学」、10月29日(土)～30日(日)に実施された滋賀医科大学の「学園祭(第42回若鮎祭)」において、里親学生支援室も、認定NPO法人滋賀医療人育成協力機構との合同ブースを設けました。

ブースでは、宿泊研修や卒業後の自分を考える連続自主講座を中心としたポスターの掲示等を行いました。また、機構広報誌「めでの」等の発行物を配布し、里親学生支援事業の取り組みを広く知っていただけるようPRに努めました。

当日は、たくさんの方にご来場いただきました。



リレー・フォー・ライフ・ジャパンでの様子



学園祭での様子

ブースにお立ち寄りいただいた皆さま、ありがとうございました。

## 【ご案内】FD(教育技能)研修会・意見交換会のご案内

2016年11月8日

「里親」・「プチ里親」にご登録いただいているみなさま方へ

滋賀県に勤務されている 医師・看護師・保健師・助産師のみなさま方へ

里親学生支援室では、下記のとおり「里親学生支援事業」の一環としてFD(教育技能)研修会・意見交換会を開催いたします。



本会は、日頃お世話になっている皆さまと里親学生支援室員や里親事業登録学生との意見交換や交流の場としております。

寒さ厳しい頃とは存じますが、事業に対するご意見等を賜りたく、お時間のご都合がつきましたら、是非ともご出席くださいますようご案内いたします。

## 記

日 時 : 平成28年12月13日(火) 午後6時から1時間30分程度

会 場 : アーバンホテル南草津 2階 コミュニティーホール

草津市南草津1丁目1番地5

TEL.077-561-0606 (JR南草津駅西口 徒歩1分)

講 演 : 滋賀医科大学 副学長(教育・広報・渉外担当)山田 尚登 先生

テーマ 「迫りくる医学教育改革について」(仮題)

その他 : 当日は軽食を用意いたします。

お申込みは、11月30日(水)までに [里親学生支援室](#)にご連絡ください。

## 「第8回卒業後の自分を考える連続自主講座」を開催します！

2016年10月12日

学生の皆さんが、医師や看護師としての自分の将来像を探すことを応援するために、「第8回卒業後の自分を考える連続自主講座」を、下記のとおり開催します。  
今回は、救命救急に携わる医師・看護師・スタッフの先輩方から経験談をお聞かせします。将来のロールモデルとなる先輩を囲んで、和やかな一時を楽しんでください。

### 記

#### 【演題：講師】

全体テーマ『災害と救急医療～救命のために～』

#### 1. 「世界標準治療を超えて」

江口豊 医師(滋賀医科大学救急集中治療医学講座教授、滋賀医大医学科2期生)

#### 2. 「災害への備え～災害の現場から～」

田畑 貴久 医師

(滋賀医科大学医学部附属病院 救急・集中治療部副部長、  
滋賀医大医学科13期生)

#### 3.4. 「チーム医療の要～メディカルスタッフの立場から～」

飯島 圭 業務調整員(滋賀医科大学施設課電気係 主任)

武村 佳奈子 看護師(滋賀医科大学医学部附属病院 看護部2C副看護師長)

#### 【開催日】

平成28年11月4日(金)午後6時～8時

#### 【会 場】

滋賀医科大学クリエイティブモチベーションセンター CMCホール

#### 【その他】

軽食を用意しますので、事前に申し込んでいただくと助かりますが、当日参加も大歓迎です。

都合で途中からの参加も可能ですので、お気軽に申込みください。

#### 【申込先】

認定NPO法人 滋賀医療人育成協力機構

TEL:077-548-2802 FAX:077-548-2803

E-mail: [satooya@belle.shiga-med.ac.jp](mailto:satooya@belle.shiga-med.ac.jp)

## プチ里親の方から勉強会のお知らせ(11月19日開催)

2016年9月30日

「彦根市の地域医療を守る会」第40回 勉強会

日時：平成28年11月19日(土)10:00~11:30

場所：彦根市立病院 医療情報センター

テーマ：寝たきりにならないコツコツ続けて

元気で長生きする方法をお教えます

講師：彦根市医療福祉推進課 理学療法士 高山 連材 氏

彦根市医療福祉推進課 保健師 大窪 牧 氏

☆ 詳しくは、こちらをご覧ください⇒

### 「彦根市の地域医療を守る会」第40回勉強会

♡寝たきりにならないコツコツ続けて

元気で長生きする方法をお教えます

内容 いつまでも元気に暮らせるためには、骨や関節、筋肉などを鍛えて予防することです。  
ロコモ? ご存知でしょうか、いろいろ勉強しながら、みんなで勉強しましょう。

講師 彦根市医療福祉推進課 理学療法士 高山連材 氏  
彦根市医療福祉推進課 保健師 大窪 牧 氏

※体が動きやすい服装でお越しください。

- 1 日時 11月19日(土) 10:00~11:30  
2 場所 彦根市立病院 医療情報センター  
(北側入り口より入ってすぐ東側の建物)  
3 参加費 100円 (連絡等の事務費に使います。)  
メモ、鉛筆、お茶等ご持参ください。

市民からの地方創生、彦根市の地域医療を守る会とケーキ屋ジュジュさんのコラボレーションで、会のキャラクター「かいちゃん・たいちゃん」のお菓子が開発されました。  
地域医療をみんなで守り支えていくために、会のスローガンを一人でも多くの方に広めていきたいと思えます。  
お菓子のデザインのロイヤリティーはありません。売り手よし、買い手よし、世間よしの三方よしです。  
おかげさまで大好評です。おいしいもの食べて幸せ気分で元気に暮らしていきたいですね。

彦根市の地域医療を守る会代表 川村啓子

地域理解・交流事業「宿泊研修」日程決定(8月24-25日開催)

2016年8月3日

地域理解・交流事業「宿泊研修」日程

～甲賀市・湖南市方面の医療と歴史・文化を学ぶ～

●8月24日(水)1日目

滋賀医科大学(出発)<9:00>

↓

信楽町地域見学(散策)<9:30～>

(信楽伝統産業会館など)

希望者 紫香楽病院(説明・見学)<10:00～11:15>

↓

一水庵(昼食)<11:30～12:20>

↓

信楽中央病院(説明・見学)<12:30～13:30>

信楽中央病院 朝宮出張診療所(見学)<13:45～14:15>

↓

わかれて見学

甲南病院(説明・見学)<15:00～16:15>

水口病院(説明・見学)<15:15～16:30>

↓

ホテルサンクレスト<17:00頃到着>(交流会・宿泊)

地元の方々・里親の先生方との意見交換、交流会

●8月25日(木)2日目

ホテルサンクレスト(出発)<8:50>

↓

善水寺・甲賀流忍術屋敷(地域見学)<9:00～11:10>

↓

くらしカフェ(昼食)<11:45～12:30>

↓

公立甲賀病院(説明・見学)<13:00～15:00>

↓

こうせい駅前診療所(説明・見学)<15:30～16:30>

↓

滋賀医科大学(解散)<17:00頃>

↓

瀬田駅(希望者ありの場合)

8/24(水)ホテルサンクレストでの交流会日程

17:30～18:30 交流会〈第1部〉講演/意見交換等

講演

「甲賀市の地域医療・保健・福祉について」

甲賀市健康福祉部健康推進課長

西田 薫 保健師

「信楽地域における医療活動について(仮題)」

信楽中央病院 病院長

中島 恭二 先生

18:45～20:45 交流会〈第2部〉学生報告会/懇談/会食

20:45～ 学生交流会

宿泊研修における交流会のご案内(8月24日開催)

2016年8月3日

「里親」・「プチ里親」にご登録いただいている皆様方へ

滋賀県で働いておられる医師・看護師・保健師・助産師の皆様方へ

里親学生支援室では、8月24日(水)・25日(木)に甲賀市・湖南市方面で宿泊研修を実施します。

8月24日の夜には、里親・プチ里親の方々や地域で勤務されている医師・看護師・保健師・助産師の皆様と参加学生との交流会を下記のとおり行いますので、是非ともご参加ください。

参加お申し込みの場合は、①第1部・第2部のどちらからの参加予定であるかと、②住所、氏名、連絡先等を電話・FAX・メールで8月5日(金)までに里親学生支援室へお知らせください。

また、ご多忙とは存じますが、開始のそれぞれ5分ほど前までには会場にお越しくださいますよう、お願いいたします。

記

1. 日 時 平成28年8月24日(水)

第1部 講演・意見交換 午後5時30分～午後6時30分

「甲賀市の地域医療・保健・福祉について」

甲賀市健康福祉部健康推進課長 西田 薫 保健師

「信楽地域における医療活動について(仮題)」

信楽中央病院 病院長 中島 恭二 先生

第2部 学生報告会・懇談・会食(飲料はノンアルコールでの提供)

午後6時45分～午後8時45分 の予定

2. 会 場 ホテルサンクレスト

湖南省岩根中央1-33 (TEL)0748-72-7777

〔問い合わせ先〕

滋賀医科大学 里親学生支援室

TEL 077-548-2802

E-mail [satooya@belle.shiga-med.ac.jp](mailto:satooya@belle.shiga-med.ac.jp)



## 里親登録学生と里親学生支援室員の顔合わせ(懇談会)を行いました

2016年6月28日

6月13日(月)の昼休みに、里親登録学生23名(新登録学生17名を含む)と里親学生支援室員との懇談会を、CMC(クリエイティブモチベーションセンター)ホールで開催しました。

初めに室員や事務スタッフ、学生の自己紹介が行われました。その後、埜田室長から里親学生支援事業の概要についての話や、今年度の事業計画について具体的な説明がありました。また、夏期休暇中に実施する甲賀市・湖南市方面での宿泊研修について、訪問先の紹介があり、学生の意見を参考に検討することとなりました。

先輩学生からは、「宿泊研修では、参加するたびに、違った感動や発見があり勉強になる」「たくさんの新入生が入ってきてうれしく思う。研修などに参加する中で、たくさん話ができばうれしい」などの意見がありました。



## 【開催案内】滋賀県医師キャリアサポートセンター懇談会(7/5)

2016年6月3日

### 第1回 滋賀県医師キャリアサポートセンター懇談会の開催案内

日時：平成28年7月5日(火) 17:30 ~ (1時間程度)

会場：滋賀医科大学医学部附属病院  
医師キャリアサポートセンター室 (病院3階 第3会議室前)

講師：滋賀県医師キャリアサポートセンター専任医師 高橋 健太郎  
(総合周産期母子医療センター、女性診療科 特任教授)

テーマ：『私の履歴書—乱学事始め~懈怠心緒—』

参加費：無料

対象：医学生

(4年生、5年生が主に対象ですが、1年生~6年生も参加可能です)

皆さまからの質問や相談もお受けします。

この機会に気になること、知りたいことをお聞きしてみませんか？

本学以外の医学生の方も大歓迎です。

皆さまのご参加をお待ちしております。

参加をご希望される方は下記の連絡先まで、学年・氏名をご記入の上  
メールでお申し込みください。電話でも受け付けております。



詳細につきましてはHPをご覧ください。

<http://www.shiga-med.ac.jp/~ishicsc/>

〔問合わせ・申込先〕

滋賀県医師キャリアサポートセンター

相談窓口・事務担当： 滋賀医科大学病院管理課

住所：〒520-2192 滋賀県大津市瀬田月輪町

TEL：077-548-3656

E-mail：[ishicsc@belle.shiga-med.ac.jp](mailto:ishicsc@belle.shiga-med.ac.jp)

担当：北川・中野

## 2015年度 活動実績

2016年4月28日

### 2015年度 活動実績

- 平成27年 4月 1日 里親学生支援室(継続設置)における新年度業務を開始
- 平成27年 4月 7日 1年生に対し、新入生オリエンテーションや医学概論 I  
～5月上旬 などの時間を利用してプロジェクトの説明  
パンフレットを配布して参加学生を募集
- 平成27年 4月15日 里親学生支援室だより No.14発行
- 平成27年 6月17日 里親学生支援室会議開催
- 平成27年 6月23日 里親学生支援室員と参加希望学生との懇談を実施  
支援対象学生の確定・支援内容の具体的説明・学生の  
属性や希望事項等の調査
- 平成27年 6月23日 里親バンク登録の「里親」と参加学生とのマッチング決定
- 平成27年 7月15日 卒業後の自分を考える連続自主講座(第5回)を滋賀医療人  
育成協力機構と協同で開催 参加者数3名
- 平成27年 8月24日～25日  
宿泊研修「湖西地域方面の医療と歴史・文化を学ぶ」を  
滋賀医療人育成協力機構と協同で実施  
参加者数 学生16名(内、自治医科大学生1名)  
教職員11名(内、機構職員2名)
- 平成27年 9月15日 里親学生支援室だより No.15発行
- 平成27年10月 医学科学士編入生に対して、参加登録の募集を行う
- 平成27年10月24日～25日  
若鮎祭(学園祭)開催時に「里親学生支援室ブース」を  
滋賀医療人育成協力機構と協同で開設
- 平成27年10月19日 里親学生支援室会議開催
- 平成27年11月 6日 卒業後の自分を考える連続自主講座(第6回)を  
滋賀医療人育成協力機構と協同で開催  
参加者数 38名
- 平成28年 1月12日 里親バンク登録の「里親」と参加学生とのマッチング決定(編入生)
- 平成28年 1月13日 卒業後の自分を考える連続自主講座(第7回)を  
滋賀医療人育成協力機構と協同で開催  
参加者数 11名
- 平成28年 1月21日 里親・プチ里親対象の「FD研修会・意見交換会」を開催  
参加者数 26名
- 平成28年 3月 2日 FD・SD研修会「医学教育における「態度教育」に関する  
FD・SD研修会」を滋賀医療人育成協力機構と協同で開催  
参加者数 59名

平成28年 3月24日～25日

宿泊研修「日野町・東近江市方面の医療と歴史・文化を学ぶ」を

滋賀医療人育成協力機構と協同で実施

参加者数 学生16名(内、滋賀県内看護師養成専門学校生3名)

教職員9名(内、機構職員2名)

## プチ里親の方から勉強会のお知らせ(6月18日開催)

2016年4月21日

「彦根市の地域医療を守る会」第38回 勉強会

日時: 平成28年6月18日(土)10:00～11:30

場所: 彦根市立病院 医療情報センター

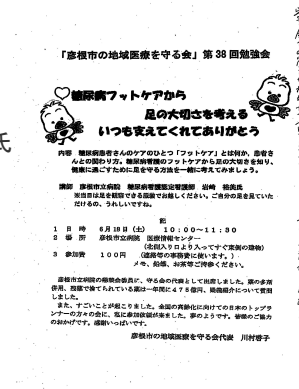
テーマ: 「糖尿病フットケアから

足の大切さを考える

いつも支えてくれてありがとう

講師: 彦根市立病院 糖尿病看護認定看護師 岩崎 裕美氏

詳しくはこちらをご覧ください→



## 東近江市・日野町方面の医療と歴史・文化を学ぶ宿泊研修を実施しました

2016年4月19日

3月24日(木)・25日(金)に、東近江市・日野町方面を訪問させていただいた平成27年度春の宿泊研修には、里親登録学生を含む本学学生13名(1～3年生)と卒業後は東近江市内の病院で勤務する予定の看護学校専門学校生2名と准看護専門学校生1名が参加されました。

今回参加された学生は、一度社会人として働いた経験を持つ方が多く、その分地域医療に興味があって、学びの多い研修になったようです。

24日(木)1日目

滋賀医科大学を出発し、里親の事業での宿泊研修が始まって以来、初めての訪問先となる蒲生郡日野町へ向かいました。

### ①地域見学(日野町のまちなみ)

近江日野商人発祥の町、日野町のまちなみを地元ボランティアガイドの説明を聞きながら見学しました。

室町時代の蒲生氏の城下町としての軌跡や、漆器や薬の行商で全国に名をはせた近江日野商人の家屋、800年以上の歴史をもつ「日野祭」の舞台となる馬見岡綿向神社の社殿を見学させていただきました。

昼食は近江商人の旧家、旧山中正吉邸において、料理好きの地域のご婦人が作ってくださった日野の伝統料理を、庭園に面した客間で、総漆の祝い膳でいただきました。

料理もおいしく豪華で、強く印象に残った昼食でした。



## ②日野記念病院訪問

日野町の中核病院である日野記念病院を訪問させていただきました。

花澤院長の案内で院内の各所や、隣接する特別養護老人ホームを見学させていただきました。その後、地域における日野記念病院の概要等についてお話をきかせていただきました。



### ③東近江市立蒲生医療センター訪問

東近江市立蒲生医療センターでは、加藤院長先生のお話の後、在宅医療の専門部門である家庭医療センターの北川医師と後期研修医の横田医師によるミニワークショップを体験させていただきました。その後、センターの概要について伺い、施設見学をさせていただきました。



### ④交流会

夕方は、宿泊先の八日市ロイヤルホテルにおいて交流会を開催しました。

交流会第1部では、「三方よし研究会について学ぶ」として三方よし研究会代表 小串輝男氏から研究会の地域での役割等について動画を交えた資料を用いて解説を受けました。また、丸山薬局 大石和美薬剤師からは、子三方よしチーム永源寺での薬剤師としてのご自身の活動を中心にご講演いただきました。

交流会第2部では、東近江地域で三方よし研究会に深く関わって活動されている方々、訪問先関係者や里親の方にも参加いただき、和やかな雰囲気の中、意見交換や懇談が行われました。



25日(金)2日目

① 地域見学(永源寺、世界凧博物館東近江大凧会館)

山が白く色づき朝から小雪が舞う中、永源寺へ向いました。

永源寺では、地元ボランティアの方の説明を聞きながら梅の香の漂う境内を散策し、世界凧博物館では東近江大凧の歴史についての説明をきき、実物の100畳大凧や世界の凧の展示を見学しました。



①東近江総合医療センター訪問

午後からは、東近江方面の中核病院であり滋賀医科大学の研修施設でもある、東近江総合医療センターを訪問しました。辻川副院長から東近江市の医療の実情や地域の病院で働くことについてのお話を伺った後、スキルスラボ研修施設において、胃カメラの操作や縫合等の体験させていただきました。





今回も、地域の方々をはじめたくさんの医療関係者等の方々にご協力いただき、地域医療について学び多い研修となりました。この場をお借りして、ご協力いただきました皆様方に厚くお礼申し上げます。ありがとうございました。

(この研修は、NPO法人滋賀医療人育成協力機構との共催で実施しました。)